



足立区議会だより

発行/足立区議会 ☎(3880)5996(直通)
http://www.gikai-adachi.jp No.256

第1回 定例会

再生紙を使用しています



舎人緑道公園

足立区議会写真部 佐々木 まさひこ 撮影

区長提出議案を可決

平成25年度足立区一般会計予算

―一般会計当初予算を、歳入歳出それぞれ2586億円としました。孤立ゼロプロジェクトの推進、こどもの基礎学力の定着、防災・減災対策、竹ノ塚駅付近鉄道高架化事業、公園等の整備事業、公共サービス改革等が本予算の特徴です。

足立区住民基本台帳カードの利用に関する条例

―住基カードの利用により、住民票の写し等の証明発行がコンビニエンスストアで可能になります。平成25年6月10日からスタートします。

議員提出議案を可決

北朝鮮の核実験に抗議する決議

平成25年第1回定例会のあらまし

第1回定例会は、2月21日から3月27日までの35日間で開催しました。

その他の区長提出議案55件について、すべて原案のとおり可決したほか、諮問1件を妥当なものとして答申しました。

本会議初日の区長あいさつの後、各会派を代表する議員、無党派の議員が、2月25日までの3日にわたり区政全般について質問を行いました。

また、議員提出議案8件中、7件を全会一致で可決、1件を否決としました。

今定例会では、平成25年度足立区一般会計予算案等、4会計予算案について、原案のとおり可決しました。

1件、不採択3件とし、他27件を継続審査としました。このほか、教育委員会委員の任命に同意しました。

寄附行為の禁止

議員(候補者等を含む)が選挙区内にある者に対し、寄附を行うことは、公職選挙法により、議員資格剥奪の罰則をもって禁止されています。

また、受け取った人も罰せられます。区民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

●主な内容●●●

- 2面 ● 区政を問う (各会派代表・一般質問)
- 5面 ● 議決結果
- 6面 ● みなさんからの請願・陳情
● 意見の分かれた案件
● 委員会活動
● 教育委員会委員の任命に同意
- 7面 ● 平成24年度足立区議会情報公開制度実施状況
● 予算特別委員会の討論 (要旨)
- 8面 ● 平成25年度各会計予算額のグラフ
- 今定例会で可決した決議・意見書(要旨)
- 平成25年度各会計予算
● 予算特別委員会審査
● 会派等一覧

問う

代表・一般質問を平成25年2月21日、22日、25日に開会した第1回定例会本会議で行いました。

代表・一般質問

議案の審議に先立ち、各会派を代表する11名の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。
以下、その一部を掲載します。

足立区議会自由民主党

あがる はじまる 竹の塚

足立の未来に向けて

自由民主党 くじらいい 光治 議員



中期財政計画改訂を問う

【問】平成25年度から32年度までの8年間の財政フレームについて、基本的な考え方を伺う。
また、持続可能な財政運営を行うために、どのような改革に取り組もうとしているのか。

【政策経営】歳入は、一般財源が計画期間前半では微減傾向で推移するが、後半での好転を見込む。歳出は、扶助費の伸びが続くに加え、高齢化の進展に伴う介護保険等特別会計への繰り出しの上昇も、施設更新経費の増加と合わせて財政圧力を大きく高める要因になると想定する。基金残高は減少を続け、財源不足回避のため、計画期間後半では、投資的経費等を中心に5%以上の縮減を課さなければならぬ状況と見込んでいる。

また、全職員がこの状況を正しく理解し、強い危機感を持って経営改革に取り組むことが不可欠となる。その上で、従来の経営改革手法を磨き継承するとともに、新たな手法も検討・導入していく。さらに、投資的経費をコントロールする上での視点を示し、取り組んでいく。

「憂いなし」の防災備蓄を

【問】区の防災備蓄品の確保状況はどうか。今後、備蓄物資保管場の確保や備蓄品の充実を図るべきと考えるがどうか。

【危機管理】避難生活者数の想定に基づき約22万人分の水、食料、毛布、マットのほか発電機、医療品等を、区内27カ所の防災倉庫等に備蓄している。今後、様々な備蓄品を充実する必要がある。加えて、倉庫そのものが使用できない事態等への備えや、支援物資の受け入れに要するスペースの確保等を推進する必要もあると考える。

【問】住民票の写し等のコンビニ二交付を進むと、区民事務所の混雑が緩和し、職員削減も可能とのことだが、どの程度か。将来的には区民事務所をどのようにしようと考えているのか。

【地域】諸証明発行に占めるコンビニ二交付の割合が全体の約60%を超えれば、約40名の人員削減が可能と試算している。このことよって生じる人的資源を、地域支援に振り向け、地域と連携して、区政の原動力である地域のちからの推進強化にあてていくことが重要と考える。



孤立ゼロプロジェクトの進捗は

【問】①現在、先行モデルとして33の町会・自治会で高齢者の実態調査が始まっているが、進捗状況はどうか。
②今後、全町会・自治会に拡大していくが、どのくらいの期間での実施を見込んでいるのか。

【絆づくり】①民生委員等の関係機関が一堂に会した打合せ会を開催し、調査の進め方を決めるとともに、個人情報取り扱いを確認し、早いところでは戸別の訪問調査が始まっている。
②今回のモデル調査の実施結果を踏まえ、概ね2年以内を目標に参画を促していく。

【生活保護不正受給対策の決意は】
【問】今回設置する生活保護適正実施協議会を踏まえ、不正受給対策に取り組む決意を伺う。

【福祉】協議会の答申をいただきながら、悪質な事例は告発する等、不正は絶対許さない強い姿勢で厳正に対処していく。
【被害を未然に防ぐまちづくりを】
【問】建物倒壊危険度の高い地域の特定エリアにおける老朽危険家屋の件数を伺う。老朽危険家屋は大地震時のみならず、日頃から周囲へ悪影響を及ぼす存在であり、特定エリア内では優先的に是正指導を進めるべきと考えるがどうか。

【建築】特定エリア内の老朽危険家屋件数は1千138件、区内全件数の約53%を占めており、積極的に是正指導を行っていく。
【問】①工事が進むと、駅西口のバスルートはどうなるのか。
②来年度以降の財源確保の見通しを伺う。

【鉄道立体】①新たな駅前広場の整備まで、赤山街道のバス専用レーンで降車した後、駅入口交差点を右折してエミエルタワーを回り、線路沿いの道路から再び赤山街道に出た所で乗車するルートへ変更することになる。
②決して楽観できる状況ではなく、あらゆる機会を通じて、国・都に対し、継続的かつ安定的な財源確保を要請していく。
子ども・子育て支援新制度への対応を問う
【問】①この制度の基本的な考え方と、待機児童解消がどのように関わってくるのかを伺う。
②新制度のスタート時期及び区におけるスケジュールを伺う。
【子ども】①質の高い幼児期の教育と保育の総合的な提供、保育の量的拡大と確保、地域の子ども・子育て支援の充実を目的とする。待機児童解消に向け、ニーズ調査を実施し、これに即した事業計画を策定し、地域の多様なニーズに対応することになる。区では、国等の動向を把握しながら待機児童解消アクション・プランとの整合性を図りつつ対応を進めていく。
②新制度は、平成27年度に本格スタートの予定である。区では平成25年度後半からニーズ調査等の準備に取り組んでいく。

【水害も考慮した災害対策を】
【問】荒川や綾瀬川がはん濫した場合、避難所となる学校の災害備蓄倉庫は1・2階に設置されている場合が多く、備蓄品は浸水で役立たなくなる。3階以上の教室や屋上に倉庫を移すことが必要と考えるがどうか。
また、区内の高層マンションオーナーやURの管理者に、避難場所として3階以上の通路等を一時提供するよう、区が地元町会・自治会との交渉や協定の橋渡しをすべきだがどうか。
【危機管理】5mの浸水の予想地域では、3階以上の移設が望ましいが、避難所運営本部からは現状の1階を要望する声が多い。そこで、施設内での分散保管等を含め、各避難所運営本部へ水害対策を考慮した設置場所を検討するよう調整していく。また、協定可能な高層施設の選定を現在行っている。協定交渉については、地元要望に応じて橋渡し等の支援を行っていく。

【問】西新井大師への参道整備を問う
【問】①用地測量まで終了しながら、補助第253号線(「大師北参道」の延伸)の事業が進展しない最大の要因は予算上の問題

【問】五反野小学校の校舎は、本年4月から解体が始まり、平成26年度には新校舎建設に取り組む。避難が必要な大地震等が発生しても、この地域の住民たちの避難場所が明確に示されていない。早急に対応すべきと考えるがどうか。

【危機管理】現在、近隣の公的施設を避難所とすべく調整を進めており、近日中に提示する予定である。解体工事の開始までには避難場所として指定できるように確実に準備を進めていく。

【問】西新井大師西駅から西新井大師へのルートは整備が進んだが、参道である分がかりやすくするため、歩道をカラー舗装にする

【問】西新井大師西駅から西新井大師へのルートは整備が進んだが、参道である分がかりやすくするため、歩道をカラー舗装にする

様々な場面を想定し 命を守る防災対策を

自由民主党 鴨下 稔 議員



さらに、URとの一時避難施設の指定協議も進めており、5月頃までに実現の見通しである。
【問】五反野小学校の校舎は、本年4月から解体が始まり、平成26年度には新校舎建設に取り組む。避難が必要な大地震等が発生しても、この地域の住民たちの避難場所が明確に示されていない。早急に対応すべきと考えるがどうか。

【問】五反野小学校の校舎は、本年4月から解体が始まり、平成26年度には新校舎建設に取り組む。避難が必要な大地震等が発生しても、この地域の住民たちの避難場所が明確に示されていない。早急に対応すべきと考えるがどうか。

【問】五反野小学校の校舎は、本年4月から解体が始まり、平成26年度には新校舎建設に取り組む。避難が必要な大地震等が発生しても、この地域の住民たちの避難場所が明確に示されていない。早急に対応すべきと考えるがどうか。

【問】五反野小学校の校舎は、本年4月から解体が始まり、平成26年度には新校舎建設に取り組む。避難が必要な大地震等が発生しても、この地域の住民たちの避難場所が明確に示されていない。早急に対応すべきと考えるがどうか。

【問】五反野小学校の校舎は、本年4月から解体が始まり、平成26年度には新校舎建設に取り組む。避難が必要な大地震等が発生しても、この地域の住民たちの避難場所が明確に示されていない。早急に対応すべきと考えるがどうか。

【問】五反野小学校の校舎は、本年4月から解体が始まり、平成26年度には新校舎建設に取り組む。避難が必要な大地震等が発生しても、この地域の住民たちの避難場所が明確に示されていない。早急に対応すべきと考えるがどうか。

【問】五反野小学校の校舎は、本年4月から解体が始まり、平成26年度には新校舎建設に取り組む。避難が必要な大地震等が発生しても、この地域の住民たちの避難場所が明確に示されていない。早急に対応すべきと考えるがどうか。

【問】五反野小学校の校舎は、本年4月から解体が始まり、平成26年度には新校舎建設に取り組む。避難が必要な大地震等が発生しても、この地域の住民たちの避難場所が明確に示されていない。早急に対応すべきと考えるがどうか。

【問】五反野小学校の校舎は、本年4月から解体が始まり、平成26年度には新校舎建設に取り組む。避難が必要な大地震等が発生しても、この地域の住民たちの避難場所が明確に示されていない。早急に対応すべきと考えるがどうか。

【問】五反野小学校の校舎は、本年4月から解体が始まり、平成26年度には新校舎建設に取り組む。避難が必要な大地震等が発生しても、この地域の住民たちの避難場所が明確に示されていない。早急に対応すべきと考えるがどうか。

【問】五反野小学校の校舎は、本年4月から解体が始まり、平成26年度には新校舎建設に取り組む。避難が必要な大地震等が発生しても、この地域の住民たちの避難場所が明確に示されていない。早急に対応すべきと考えるがどうか。

【問】五反野小学校の校舎は、本年4月から解体が始まり、平成26年度には新校舎建設に取り組む。避難が必要な大地震等が発生しても、この地域の住民たちの避難場所が明確に示されていない。早急に対応すべきと考えるがどうか。

【問】五反野小学校の校舎は、本年4月から解体が始まり、平成26年度には新校舎建設に取り組む。避難が必要な大地震等が発生しても、この地域の住民たちの避難場所が明確に示されていない。早急に対応すべきと考えるがどうか。



【問】五反野小学校の校舎は、本年4月から解体が始まり、平成26年度には新校舎建設に取り組む。避難が必要な大地震等が発生しても、この地域の住民たちの避難場所が明確に示されていない。早急に対応すべきと考えるがどうか。

【問】五反野小学校の校舎は、本年4月から解体が始まり、平成26年度には新校舎建設に取り組む。避難が必要な大地震等が発生しても、この地域の住民たちの避難場所が明確に示されていない。早急に対応すべきと考えるがどうか。

【問】五反野小学校の校舎は、本年4月から解体が始まり、平成26年度には新校舎建設に取り組む。避難が必要な大地震等が発生しても、この地域の住民たちの避難場所が明確に示されていない。早急に対応すべきと考えるがどうか。

【問】五反野小学校の校舎は、本年4月から解体が始まり、平成26年度には新校舎建設に取り組む。避難が必要な大地震等が発生しても、この地域の住民たちの避難場所が明確に示されていない。早急に対応すべきと考えるがどうか。

【問】五反野小学校の校舎は、本年4月から解体が始まり、平成26年度には新校舎建設に取り組む。避難が必要な大地震等が発生しても、この地域の住民たちの避難場所が明確に示されていない。早急に対応すべきと考えるがどうか。

代表質問

区政を



本会議の録画中継を
区議会ホームページでご覧いただけます
<http://www.gikai-adachi.jp>

用語

インキュベーションマネージャー：創業まもない企業が独力でも十分に事業展開していけるようにアドバイスを行う相談員のこと

マッチングクリエイター：区内中小企業を訪問し、公的制度やビジネスパートナーを紹介、事業展開へとつなげる相談員のこと

認知症アウトリーチチーム：認知症の疑いのある方やその家族に対し、医師等の専門職がチームを組み、訪問支援等のサポートを行う

等の工夫が必要と思うがどうか。

【道路整備】①厳しい財政状況を背景に都市計画道路事業全体の規模縮小が避けられないこと、また、東日本大震災を踏まえ、防災危険度の高い地域内にある補助第138号線の事業を優先したことが要因にあげられる。
②多くの人に西新井大師への参道であると認識されるよう、さらなる工夫を検討していく。

【企業の積極的な誘致を図れ】
【問】企業関連施設、たとえば住宅等を誘致することで、企業とのパイプを構築し、将来的に企業本体の誘致につなげていくという考えもあるがどうか。

【産業経済】税制面の優遇が難しい等、企業側のインセンティブの設定が難しく、現在、積極的に誘致活動は行っていない。一方で、創業支援施設を設置し、将来有望な起業家を呼び込むとともに、区を牽引できる企業に成長できるよう、インキュベーションマネージャーを中心にアドバイス等を行っている。また、マッチングクリエイターを中心に、区外企業からのマッチング相談への対応や、区内外の企業を結びつけるビジネスサロンを積極的に実施している。

足立区議会公明党

女性力の活用で地域力を高め、夢もてる足立の構築をめ、

公明党 あかし 幸子 議員



女性が活躍する社会を築く！

【問】政府目標の「2020年までに指導的地位の女性割合を少なくとも30%程度に」は、日本が元気を取り戻す上で重要と考えるがどうか。

【地域】指導的立場を選択する女性の増加は、経済成長のみならず、男性の働き方も変える等多くの効果があると考えます。

【問】平成年度予算への決意は

【問】新年度予算のタイトル「確かな明日のために今、さらなる挑戦」の意図と、区長の決意は、



かな明日のために今、さらなる挑戦」の意図と、区長の決意は、
【問】後ほどどう取り組むのか。
【区長】様々な困難等乗り越え、さらに前へという思いを込めた。区長として厳しい選択を迫られることが多々あることは言うまでもないが、今なすべきことを迅速・着実にやっていく。また、重点項目の1点目は孤立ゼロプロジェクトの推進、2点目は防災・減災対策、3点目はこどもの基礎学力の定着、4点目はビューティフル・ウィン

ドーズ運動の推進である。今後は、歳入歳出のバランスを図り、限られた財源を最優先の施策に振り向けて対応していく。

【問】認知症を見守る社会に向けて

【問】都は、認知症アウトリーチチームの配置のモデル事業を実施するが、区として参加できるような要望すべきか。

【福祉】大内病院に設置された認知症疾患医療センターの意向を十分に踏まえ、モデル事業への参加を要望していく。

【問】がん患者への支援拡充を

【問】都内に34カ所ある「がん相談支援センター」の存在を、積極的に周知すべきか。

【衛生】乳がん、子宮頸がん検診の無料クーポン券を送付する際、センターの一覧と機能を紹介した案内を同封する。また、区ホームページからもセンターにリンクするとともに、がん検診のチラシ等に案内を掲載する。

【問】都営住宅跡地の有効活用を図れ

【問】跡地活用について、積極的に都に要望すべきか。

また、都営梅田アパートの跡地活用は、高齢者・子ども・障がい者が共存する複合施設にして、地域交流の拠点にしてはどうか。

【都市建設】これまで、障がい者施設等、区の政策実現のため都へ申し入れを行い、活用を図ってきた。今後も、都営住宅建替

【問】区民ニーズに沿った公園再編・パークイノベーションを

【問】公園の配置やトイレ・遊具の総量規制等に取り組みとしており影響も考えられるが、地域との調整はどう考えているか。また、公園利用者へのサービ

また、幹線道路に面した利用者の見込める2万㎡以上の公園を抽出し、誘致の可能性を検討設置に向け取り組んでいく。

【問】利用者と地元住民の話し合いの場として、モデル地区による「(仮称)地区公園活用推進連絡会」で検討していく。

また、妊産婦の移送を含め、バス事業者等との協定を伺う。

②看護学科のある帝京科学大学や区内大学等に「妊産婦・乳児救護所」を設け、助産師派遣等の災害時協定を関係機関と締結すべきか。

【問】専門の相談員が子育てサロンに出向き、保護者の相談を受ける等、支援してはどうか。また、認証保育所等利用者助成金が増額されるが、利便性を考慮すると、区が保育所に直接助成を行い、利用者は差額のみ支払うようにすべきか。

【子ども】認可保育園、認可外保育施設の入園等の相談は、8月から9月に多くなる傾向がある。平成25年度から、この時期をとらえ、子育てサロンに出向いて相談事業に取り組んでいく。

また、認証保育所等利用者助成金は、平成25年度から、保護者支払いから事業所支払いに変更する。

防災減災対策で区民を守れ 女性の視点からの防災対策

公明党 長井 まさのり 議員



妊産婦・乳児へのケアで大規模災害時の安心安全を確保せよ

【問】①大規模災害時に避難が必要な妊産婦・乳児の想定数はいくらか。区内外の産婦人科との連携もあわせて伺う。

また、妊産婦の移送を含め、バス事業者等との協定を伺う。

②看護学科のある帝京科学大学や区内大学等に「妊産婦・乳児救護所」を設け、助産師派遣等の災害時協定を関係機関と締結すべきか。

【危機管理】①避難生活者想定数は、あわせて最大約7千人と考えられる。区内外の医療機関との連携は、都が任命する災害時医療コーディネーターが調整を行う。災害時の医療体制については、具体化までにはなお時間を要する見通しである。

移送に関する協定は、今後、締結に向けて調整していく。

②「第二次避難所」の一形態として、帝京科学大学も含め、関



【危機管理】民生・児童委員会を中心に防災区民組織と連携して行う予定だが、支援の担い手の確保がさらに必要である。孤立ゼロプロジェクトの「寄り添い支援員」に情報を提供し、連携を進めていく。あわせて、生活協同組合等の事業者と日常的見守りも含め、協定を進める等、支援充実を図っていく。

財政の見える化と北千住駅周辺のバス網の整備を！

公明党 いいくら 昭一 議員



財政健全度向上へ新公会計制度のさらなる活用を図れ

【問】区は財政健全化を常に推進するため、財政の「見える化」でムダを省く必要がある。

そこで、公会計改革によるバ

ランスシート、行政コスト計算書等の財務4表を10月の決算時に財務報告書に添付し、議会審議の対象とすべきと思うがどうか。

既存の歳入歳出決算書作成と時期が重なることから、議会への提出が遅れる状況にある。今後は、財務4表の速報版を参考資料として添付する等、改善に努めていく。

千住地域からのさらなるバス路線網拡大で交通利便性の向上を

【問】東京スカイツリーが完成し、全国から多くの方が訪れている。そこで、スカイツリー方面等に向かうバス路線の誘致を以前から提案してきた。足立区総合交通計画では概ね5年以内の計画に位置付けされているが、今後の事業計画を伺う。

また、墨堤通りから堀切橋を経由し、葛飾区方面へのバス路線計画を伺う。

日本共産党足立区議団

今こそ区民生活優先の予算に組み替えるべき

日本共産党 針谷 みきお 議員



線計画を伺う。
【都市建設】スカイツリー方面へのバス路線は、区総合交通計画の短期施策に位置付けた路線である。今後、なるべく早い時期に運行できるよう、バス事業者等、関係機関と協議していく。また、葛飾区方面への路線についても、この協議の中であわせて検討していく。



新年度予算案を組み替えよ

【問】新年度予算案は、がん検診の有料化や国保料の値上げ等、区民負担を強める一方、学校統廃合の強行や再開発に民活手法を導入する等、住民福祉の増進を図る地方自治の精神からかけ離れている。予算案を組み替えるべきかどうか。

【区長】限られた財源でサービスを維持・提供するには、より厳しい見直し等の連続になると想定する。当予算は持続可能な「確かな明日」のために編成した。組み替える考えはない。

区民の命と健康を守る立場で

【問】①区は、子どもの予防接種

避である。その一環として自己負担を導入するものである。
②今後、汚染地域に東京都が該当するかどうかも含め、示される勧告を注視していく。

【学校教育】③いずれも安全性は確認しており、状況に変化がない限り、測定は考えていない。目先の経費削減に走った学校統廃合の強行は非効率

【問】新田小中一貫校については地域の人口急増に耐えられず、新校舎建設に50億円を要した。千寿第五小をはじめ、目先の経費削減に走った統廃合は、子どもの教育環境を低下させる上、かえって税金の無駄遣いになり非効率ではないか。

【教育長】統合計画全体が、限られた財源を効果的に活用し、無駄のない財政運営にとつて欠くことのできない政策である。

【問】近隣の苦情等への対応として、区民参加でガイドラインを作るべきではないか。

【問】新田小中一貫校については地域の人口急増に耐えられず、新校舎建設に50億円を要した。千寿第五小をはじめ、目先の経費削減に走った統廃合は、子どもの教育環境を低下させる上、かえって税金の無駄遣いになり非効率ではないか。

賃金の引き上げと正規雇用の拡大・若者の就労支援を

日本共産党 鈴木 けんいち 議員

雇用対策を強め、若者に未来を

【問】労働者派遣法の施行以降、現在、非正規労働者の割合は約35%にまで増えている。こうした流れに歯止めをかけ、賃金の引き上げと「雇用は正社員が当たり前」の立場に立った雇用政策の確立が必要ではないか。

また、高校中退者及び高校卒業後の進路未決定者の実態をつかみ、あだち若者サポートステ

【みどり】モデル地区を選定し、公園利用者、地域住民等による連絡会を設置して検討していく。きめ細かなバス路線網の整備を

【問】区総合交通計画における「空白地域解消等に資する路線」のうち、東伊興二・四丁目付近、谷中・大谷田付近、保塚・平野・島根・六月付近を通る3路線の新規実現を図るべきかどうか。そのためには、バス車両の一部購入費補助を行うべきだがどうか。



【都市建設】なるべく早い時期に3路線が実現できるよう、関係機関との協議を進めていく。バス車両の一部購入費補助は考えていない。



ーションにつなげる等で、早期対応が図れる取り組みを強めてはどうか。



【産業経済】非正規労働者の増大は、今後のわが国にとつて大きな問題と受け止め、今後とも正社員を目指すための就労支援策を継続していく。

また、特別区長会として都教委に情報提供を求める要請を行うとともに、新年度にモデル事業を予定し、中退や進路未決定を防止する仕組みを探っていく。

綾瀬新橋架け替え事業を問う

足立区議会民主党

生きづらさを抱えた人達に対する支援策の構築を

民主党 長谷川 たかこ 議員



【問】国による平成25年度からの「生活支援戦略」事業は、生活困窮者への支援体制の底上げや強化を図り、民間との協働による伴走型支援や多様な就業機会の確保等の支援体系を整備するものである。この事業を区として積極的に活用してはどうか。

【産業経済】生活支援戦略については極めて高い関心を持っていて。今後はモデル事業の募集開始を想定しており、関係所管で応募内容を検討していく。

また、社会から孤立している方、複合的課題を抱えた方への、アウトリーチや関係機関の連携等についても検討していく。

成人の発達障がい支援のため区独自の支援プログラム策定を

【問】成人の発達障がい支援策として、普及・啓発や相談支援、発達支援、就労支援、家族支援

自転車利用者等にも配慮した設計・構造にすべきかどうか。また、綾瀬川堤防の耐震化工事との関連はどうなるか。

【都市建設】平成25年2月15日に事業認可の告示があり、平成32年度までの完了を予定する。車椅子や自転車等に配慮した設計に、また、堤防の耐震化工事との整合性を図りながら事業を推進するよう、東京都第六建設事務所申し入れていく。

【福祉】平成24年度から発達障がい者支援関係機関連絡会を設置し、事例検討も含め、支援について協議している。新年度はさらに、専門家等からの意見の導入体制を整備し、区の支援プログラムを検討していく。

足立区議会みんなの党

防災対策、待機児童解消アクション・プランについて

みんなの党 浅古 みつひさ 議員



区民に自助意識の周知徹底を

【問】昨年の区政に関する世論調査では、区に期待する防災対策に対し、8割以上の区民が「非常食・飲料水等の確保」を挙げた。防災関連の法や条例は、自

助として3日間の食糧確保を前提としている。最悪の場合、区の備蓄品が不足する可能性から、改めて区民への周知が必要であると。地域によっては区内企業にも備蓄の協力を願うことが必要と考えるがどうか。

【問】平成24年8月に改定した

的な支援手法の検証が必要である。都発達障害者支援センター、医師等の専門家、ハローワーク等による検討委員会を立ち上げ、関係機関と連携を強化して事例検証を行い、区独自の支援プログラム策定を進めてはどうか。



【福祉】平成24年度から発達障がい者支援関係機関連絡会を設置し、事例検討も含め、支援について協議している。新年度はさらに、専門家等からの意見の導入体制を整備し、区の支援プログラムを検討していく。

【危機管理】家庭内備蓄の区民周知は、さらに強化が必要と考える。防災訓練等での啓発活動や、全戸配布予定の防災マップの中で重要性を強調していく。また、「東京都帰宅困難者対策条例」の施行により、企業には従業員向けの水・食糧の備蓄等が努力義務化される。区内企業に対する普及啓発等を行い、企業内備蓄の推進を図っていく。

待機児童アクション・プラン。常に最新の保育事情に合う改定がベストだが、一方、保育所を開設・経営する側は人材確保や経営面の実情から、早めの開設募集を願っている。もう少し早めにプランを改定できないか。

【子ども】地域を細分化した上、新たに待機児童世帯への調査を実施したため、分析に時間を要したと考える。調査等は平成25



無 会 派

職員給与を減額せよ！精神障がい者への支援拡大を！

無 会 派 市 川 おさと 議員



職員給与削減でさらなる行革を
【問】区行政は効率化したがるが、聖域のごとく職員人件費は残った。多くの首長が、国からの地方公務員給与削減要請を批判するが、この要請をどう考えるか。

また、退職手当について、最高支給率到達前の支給率が国を上回る状態は、解消するのが当然と考えるがどうか。

【総務】特別区職員の給与は特別区人事委員会の勧告を受け、23区統一で水準を決定している。都や他自治体の動向も鑑み、慎重な検討が必要と考える。

退職手当は他団体の見直し状況を踏まえ、特別区においても制度改正を平成25年4月施行に向け提案した。このことにより、今の状態は解消される。

【精神障がい者への理解促進を】
【問】精神障がい者施策を行う際には、一般の理解が必要な場面も多い。広く啓発する必要がある。

あり、その質・量ともに不足していると考えがどうか。

また、精神障がい者の地域移行、地域定着支援のためにどのような努力をしているか。

【衛生】「こころの健康フェスティバル」を開催しているが、広く区民を対象とする啓発事業をさらに推進する必要があると認識しており、効果的な方法、内容等を検討していく。

また、地域移行、地域定着については、担当保健師と相談支援事業者で情報交換し、対象者の状況に応じた、きめ細やかな支援に努めている。

第1回定例会
議決結果

区長提出議案

可決したもの

平成25年度予算・補正予算

- ◇平成25年度足立区 一般会計 予算
- ◇平成25年度足立区 国民健康保険特別会計予算
- ◇平成25年度足立区 介護保険特別会計予算
- ◇平成25年度足立区 後期高齢者医療特別会計予算 (4会計予算の内容は8面に掲載)
- ◇平成25年度足立区 一般会計補正予算(第1号)
 - 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ4億円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2千590億8千371万7千円とするもの
- ◇平成25年度足立区 一般会計補正予算(第2号)
 - 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ8千371万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2千590億8千371万7千円とするもの
- ◇平成24年度足立区一般会計補正予算(第5号)
 - 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ30億4千352万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2千510億1千108万円とするもの
- ◇平成24年度足立区国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

- 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ3億6千13万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ84億241万8千円とするもの
- ◇平成24年度足立区介護保険特別会計補正予算(第3号)
 - 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ16億5千253万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ424億9千169万4千円とするもの
- ◇平成24年度足立区後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
 - 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2億3千79万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ116億326万4千円とするもの
- (以上4議案について、日本共産党足立区議団より反対の立場から討論あり)

条 例

- ◇足立区住民基本台帳カードの利用に関する条例
 - 住民基本台帳カードの利用の目的等を定めるもの
- ◇足立区立図書館条例の一部を改正する条例
 - 常東コミュニティ図書館の廃止及び東京電機大学内足立区立図書館図書受渡窓口の開設に伴い、規定を整備するもの
- ◇足立区印鑑条例の一部を改正する条例
 - 多機能端末機による印鑑登録証明書の交付の申請について定めるもの
- ◇足立区生活保護適正実施協議会条例
 - 足立区生活保護適正実施協議会を設置するとともに、規定を整備するもの
- ◇足立区社会福祉法人の助成に関する条例の一部を改正する条例
 - 足立区社会福祉法人設立認可審査会条例
 - 足立区社会福祉法人設立認可審査会を設置するとともに、規定を整備するもの
 - ◇足立区指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例
 - 足立区指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営等に関する基準を定めるもの



- ◇足立区知的障がい者大谷田グループホーム条例の一部を改正する条例
 - 足立区知的障がい者大谷田グループホーム条例の一部を改正するもの
- ◇足立区精神障がい者自立支援センター条例の一部を改正する条例
 - 足立区精神障がい者自立支援センター条例の一部を改正するもの
- ◇足立区立小学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例
 - 以上8議案は、障害者自立支援法の改正に伴い、規定を整備するもの
- ◇足立区ボランティア施設条例の一部を改正する条例
 - 足立区ボランティア施設指定管理者評価委員会を設置するとともに、規定を整備するもの
- ◇足立区障がい福祉センター条例の一部を改正する条例
 - 障害者自立支援法等の改正に伴うもののほか、規定を整備するもの
- ◇足立区特別区道等に係る移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例
 - 移動等円滑化のために必要な特別区道等の施設の設置に関する基準を定めるもの
- ◇足立区立公園等に係る移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例
 - 区立公園等の施設の基準を定めるもの
- ◇足立区が管理する特別区道等の技術的基準に関する条例
 - 区が管理する特別区道等の技術的基準を定めるもの
- ◇足立区が管理する特別区道等に設ける道路標識の寸法を定めるもの
- ◇足立区準用河川の河川施設等の構造に係る技術的基準を定めるもの
- ◇足立区営住宅条例の一部を改正する条例
 - 区営住宅の整備の基準等を定めるもの
 - (日本共産党足立区議団より反対の立場から討論あり)
- ◇足立区道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例
 - 道路占用料を定めるもの
- ◇足立区自転車等の駐車秩序及び自転車等駐車場の整備に関する条例の一部を改正する条例
 - 区営自転車等駐車場のレインタサイクル事業の実施等を定めるもの

◇足立区竹ノ塚駅公共駐車場条例の一部を改正する条例
指定管理者選定審査会の所掌事項及び名称を変更するもの

◇足立区立公園条例の一部を改正する条例
区立公園の設置の基準等を定めるもの
(日本共産党足立区議団より反対の立場から討論あり)

◇足立区関原の森・愛恵まちづくり記念館条例及び足立区まちづくり工房条例の一部を改正する条例
足立区関原の森関連施設指定管理者選定審査会の所掌事項及び名称を改めるもの

◇足立区住宅・建築物耐震助成条例の一部を改正する条例
助成の対象から建替え工事を除くもの

◇足立区景観条例の一部を改正する条例
景観法の改正に伴い規定を整備するもの

◇足立区附属機関の構成員の報酬および費用弁償に関する条例及び足立区子ども未来創造館条例の一部を改正する条例
ギヤラクシテイ指定管理者選定審査会及びギヤラクシテイ運営評価委員会の委員の報酬額を変更するもの

◇足立区における保育の実施等に関する条例の一部を改正する条例
神明町保育園を廃止し、新田三丁目なかよし保育園を設置するもの

◇足立区長等の退職手当に関する条例の一部を改正する条例
区長等の退職手当の支給率

を改定するもの

◇足立区職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例
退職手当の支給率等を改定するもの

◇足立区いじめに関する調査委員会設置条例
足立区いじめに関する調査委員会を区長の附属機関として設置するとともに、規定を整備するもの

◇足立区政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例
地方自治法の改正に伴い、政務調査費の名称を政務活動費に変更するほか、政務活動費を充てることができる経費の範囲等について定めるもの

◇足立区国民健康保険条例の一部を改正する条例
保険料率等を改定するもの
(日本共産党足立区議団より反対の立場から討論あり)

指定管理者を指定するもの

報告

◇損害賠償の額の決定について
総合スポーツセンターテニスコート利用者の打球が防球フェンスを越え、相手方店舗に当たり、損害を与えた賠償の額(11万1千3百円)の決定

◇議決を得た契約の変更
ギヤラクシテイリニューアル建築工事 ほか2件

諮問

◇人権擁護委員候補者の推薦について
人権擁護委員候補者として、中川美知子氏を法務大臣に推薦するため、区長から議会の意見を求められた。議会はこれに対し、異議のないものと答申した。

議員提出議案

可決したもの

◇足立区議会会議規則の一部を改正する規則

◇足立区議会委員会条例の一部を改正する条例

◇足立区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
以上3議案は、地方自治法の改正に伴い、規定を整備するもの

◇北朝鮮の核実験に抗議する決議

◇中小企業に対する経営支援体制の強化を求める意見書

◇ブラッドパッチ療法法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断治療の推進を求める意見書

◇給付制奨学金の実現を求める意見書
(決議・意見書は8面に掲載)

否決したもの

◇足立区における保育の実施等に関する条例の一部を改正する条例
保育料を他区並みに抑えることで、所得の低い方々の経済的負担を減らし、子育てを支援するもの
(日本共産党足立区議団より否決に反対の立場から討論あり)

みなさんからの請願・陳情

採択したもの

◇足立区役所の敷地内に喫煙所を造る陳情

不採択としたもの

◇「朝鮮高校へ授業料無償化適用を求める」意見書の提出を求める意見書
陳情の趣旨に沿いかねる

◇国民健康保険料についての陳情
陳情の趣旨に沿いかねる

◇常東コミュニティ図書館存続についての陳情
陳情の趣旨に沿いかねる
(日本共産党足立区議団より不採択に反対の立場から討論あり)

特別区道路線の認定

所在地	幅員(m)	延長(m)
西伊興一丁目地内	9.50~11.86	117.20
平野三丁目地内	5.00	59.62

特別区道路線の廃止

所在地	幅員(m)	延長(m)
西伊興町・西伊興一丁目地内	11.40	260.92

委員会活動

委員会名	日程	主な内容			
		審査		報告	その他
議案	請願	陳情			
総務委員会	1/18(金)			7	2
	2/26(火)	10		6	8
	2/28(木)	1			
	3/27(水)	1			
区民委員会	1/21(月)		1	2	5
	3/13(水)	4	1	4	9
産業環境委員会	1/22(火)				3
	3/13(水)	1			12
厚生委員会	1/22(火)	1		4	2
	3/14(木)	13		5	14
	3/27(水)				所管事務の調査
建設委員会	1/23(水)				10
	2/27(水)	19			10
文教委員会	1/23(水)			3	3
	2/27(水)	4		3	7
	3/27(水)	1			
議会運営委員会	1/29(火)			1	
	2/20(水)				
	2/28(木)			1	
	3/26(火)				
交通網・都市基盤整備調査特別委員会	1/24(木)				2
	3/21(木)				5
子ども施策調査特別委員会	1/24(木)			2	3
	3/21(木)			2	6
災害・オウム対策調査特別委員会	1/25(金)			9	4
	3/22(金)			9	3
生活保護・高齢者生きがい対策調査特別委員会	1/28(月)				2
	3/22(金)				4

意見の分かれた案件(議案69件中14件)

件名	会派名及び結果					結果
	足立区議会自由民主党	足立区議会公明党	日本共産党足立区議団	足立区議会民主党	足立区議会みんなの党	
平成24年度足立区一般会計補正予算(第5号)	○	○	×	○	○	原案可決
平成24年度足立区国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	×	○	○	原案可決
平成24年度足立区介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	×	○	○	原案可決
平成24年度足立区後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	×	○	○	原案可決
平成25年度足立区一般会計予算	○	○	×	○	○	原案可決
平成25年度足立区国民健康保険特別会計予算	○	○	×	○	○	原案可決
平成25年度足立区後期高齢者医療特別会計予算	○	○	×	○	○	原案可決
足立区職員定数条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	原案可決
足立区立図書館条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	原案可決
足立区営住宅条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	原案可決
足立区立公園条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	原案可決
足立区における保育の実施等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	原案可決
足立区国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	原案可決
足立区における保育の実施等に関する条例の一部を改正する条例(議員提出議案)	×	×	○	×	×	原案否決

平成24年度 足立区議会情報公開制度の実施状況

請求件数	取下件数	開示	一部開示	非開示	不存在	存否非開示	閲覧	視聴	写し	開示率
1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	100%

※平成24年4月1日から平成25年3月31日

教育委員会委員の任命に同意
教育委員会委員について、区長から任命同意が求められ、議会はこれに同意しました。
教育委員会委員 小川 清美

本紙に掲載いたしました、代表・一般質問や、議案の内容等は概要です。詳細については6月中旬以降、区議会事務局・区政情報課・区立図書館で本会議録をご覧下さい。区議会ホームページにも掲載いたします。

足立区議会 自由民主党



討論者 梶原 下委

経済の見通しは、円安による輸出環境の改善や経済対策、金融政策の効果等を背景に、景気回復も期待されるが、区政運営はさらに厳しさが増してくると想定される。今後も、特別区税をはじめ、負担金・使用料等の徴収強化、未利用地の活用等、さらなる歳入確保を推進するとともに、事務事業の徹底的な見直しや受益者負担の適正化、職員の危機意識やコスト意識の徹底に引き続き取り組まねばならない。

まず、区営住宅使用料の債権放棄の問題である。滞納使用料の回収について、我が党の質疑でも明らかになったように、区を取り組みは、不十分であったと指摘せざるを得ない。今後、区営住宅使用料の債権回収の適正化を図るとともに、公法上、私法上の債権を問わず、徴収努力を一層推進す

用語解説
*リバースモーゲージ制度：低所得の高齢者世帯等に対し、一定の居住用不動産を担保として、生活資金を貸し付ける制度

足立区議会 公明党



討論者 幸子 あかし

平成25年度一般会計の総額は2千586億円と、前年度比150億円の増額となっているが、経常収支比率は3年連続して適正水準とされる80%を超過して、硬直化が進んでいるため、今後も、さらなる歳出の見直しと歳入確保に努めていかなければならない。

そのためには、行政資源のより効果的な配分の徹底が重要である。また、業務の外部化やNPOとの協働等のほか、区民税や保険料の収納率向上への取り組みも重要である。一方、治安については、刑法犯認知

件数が1万件を下回って、23区ワーストワンを返上し、平成24年度世論調査の結果では「区を誇りに思う」割合がはじめて4割に達する等、区のマイナスイメージ刷新の必要性が、さらに高まっている。

社会的孤立解決に向けての孤立ゼロプロ

ることを強く要望する。

福祉分野では、生活保護受給者のさらなる自立支援と適正化、リバースモーゲージ制度の活用、児童虐待防止に向けた歯科医師会との連携、休日診療の充実。まちづくり分野では、都市計画道路の整備促進、綾瀬川の護岸対策等に関する要望があった。

また、議会と執行機関との関係では、説明・報告が関係議員に対し不十分であると指摘した。今後、執行機関には、適切な時期に十分説明・報告するよう強く要望する。

なお、共産党から提出された修正案については、歳入となる財源の多くが積立基金の取り崩しであり、歳出はバラマキ的なものが多く、今後の長期的な区政運営を考えると、到底賛成できるものではない。

最後に、本予算特別委員会で、我が党委員の指摘した事項及び提案、要望事項を尊重し、その実現に努力されることを望むとともに、予算執行においても、議会との信頼関係を損なうことのないよう強く求める。

ジェクトの展開、子どもの基礎学力定着と向上に向けての教育次長の新設、復興税を活用した、危険度の高い建築物耐震化の促進や老朽家屋対策、区立公園の防災対策設備設置等の防災・減災対策、区民サービスの向上と窓口業務全体の効率化のための住基カードによるコンビニでの各種証明書交付等は、一歩踏み込んだ施策と評価する。

また、潜在的需要の高い待機児童対策をはじめ、若年者への就労支援や、元気に暮らし続けるための高齢者支援、生活保護の適正化と自立支援等々、喫緊の課題解決に向けて一層の努力を重ねるよう期待する。

最後に、我が党委員が指摘した待機児童対策、交通網整備、商店街振興、税外収入の拡大、舎人公園の整備、買い物支援、障がい者就労、介護人材の定着、精神障害者保健福祉手帳一級所持者への心身障害者福祉手当の支給、公共施設複合化等の提案等は真摯に受け止め、新年度予算の執行や今後の区政運営に反映されるよう要望する。

区分	会派名		足立区議会 自由民主党		足立区議会 公明党		日本共産党 足立区議団		足立区議会 民主		足立区議会 みんなの党	
	原案	修正案	原案	修正案	原案	修正案	原案	修正案	原案	修正案	原案	修正案
一般会計	賛成	反対	賛成	反対	反対	賛成	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
国民健康保険特別会計	賛成	—	賛成	—	反対	—	賛成	—	賛成	—	賛成	—
介護保険特別会計	賛成	反対	賛成	反対	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
後期高齢者医療特別会計	賛成	—	賛成	—	反対	—	賛成	—	賛成	—	賛成	—
一般会計補正予算(第1号)	賛成	—	賛成	—	賛成	—	賛成	—	賛成	—	賛成	—

特別 予算 委員会の 討論(要旨)

日本共産党 足立区議団



討論者 針谷 みさお

日本経済の停滞で、当区でも区民の賃金や年金が減る一方、年少扶養控除の廃止による増税や、国保・後期高齢医療の保険料値上げ等、生活の苦しさは一層激化した。新年度予算案は4会計で4千億円と史上最高となり、区民生活を支える財源はあるが、区は人口減少をことさらに強調し、区民の切実な願いに背をむけている。

区は認可保育園の第一次不承諾を1千500名も出し、22名の区民が集団異議申し立て

足立区議会 民主党



討論者 修平 小倉

「治安」「子どもの学力」「経済的な困窮」を打開しなければならぬ区の問題と課題認識を持ち、ビューティフル・ウィンドウズ運動、基礎学力定着のための事業の重層的な展開、区独自の様々な就労支援策を積極的に講じてきたことや、平成25年度予算案においても、孤立ゼロプロジェクトや自殺対策等、生きるための寄り添い型支援の実施、子どもの学び向上や基礎学力定着を目指した「たくましく生きぬく力を育てる」

足立区議会 みんなの党



討論者 古川 つかみ

東日本大震災からのこの2年間は、「絆」を合言葉に、国民の思いが一つの方向に向かった2年であった。長引く不況下における大打撃は、より深く日本経済を突き落とすものであった。しかし、私たちは多くの困難を力に変え、経済復興、景気回復の入口に立つことができた。今予算特別委員会の議論を通じ、区においても、この流れにしっかり乗ろうという意思が感じられた。

を行った。その原因は周辺区より、認可保育園の整備が10%も遅れていることにある。新年度予算案では包括予算制度の問題点も浮き彫りになり、予防接種の定期接種化のために、がん検診を有料化、必要な予算も削減している。

また、上からの管理・競争教育を押しつける教育次長制度や学校統廃合の強行等、教育現場の意見を無視、強行しようとする区教委の態度は認められない。

地域防災計画が見直されるが、放射能対策予算は依然ゼロである。学校給食食材の検査や放射線測定器の貸出要望に応えない姿勢は、区民の不安を一層広げる。

取り組み、防災・減災対策の強化、竹ノ塚駅付近鉄道高架化事業の工事着工等、一定の評価をするものである。

しかしながら、依然として厳しい財政状況が続いており、独自の歳入確保、事業の選択と集中の徹底や事務事業の効率化、不納欠損や収入未済額の改善の強化を求める。個別施策において、誰もが等しく教育を受ける機会の確保、全ての世代の社会的孤立に寄り添う支援事業の拡充を求めた。

交通対策では、自転車マナー向上のための啓発事業実施や日暮里・舎人ライナー駐輪場整備や新田地域へのコミュニティバスの開通について要望した。

公園等の整備事業、都市更新であり、将来の区民生活を見据えた必要不可欠かつ適切な予算計上であった。しかし、歳入は前年度に比べ大幅な増収を望むことはできず、185億円の基金を取り崩しての予算編成となり、厳しい財政運営を余儀なくされるものである。これに対し、各種証明書のコンビニ発行や窓口業務の外部委託化等、行革分野に新たなチャレンジをしたことも、今回の予算の大きな特徴であり、評価に値する。

また、教育分野においては、将来の足立区を支える人材育成をさらに強化すべく、教育次長の設置等、組織改革にも着手したことは、区の重点施策が子ども施策であるこ

とをより印象づけた。

国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の各特別会計は、いずれも増額となったが、その主な理由は人口動態の変化による自然増であり、改善には元気な高齢者というキーワードが外せない。昨年我が党が提案した、北海道美瑛市の施策等を参考に、医療費の削減に努める必要がある。

緊縮財政にあたり、避けられないのは事業の廃止だが、理事者側のみならず、議会側も廃止事業の選択に関わることが求められている。今予算特別委員会で我が党からの提案が、今後、区の政策会議等にて取捨選択の対象となることを強く求める。

我が党は区民の命、暮らし、地域経済を守る立場から予算修正案を提案した。主な内容は、23区一高いB・C階層の保育料値下げ、認可保育園の増設、孤独死対策等、69項目19億円の新規・拡充事業の実施である。

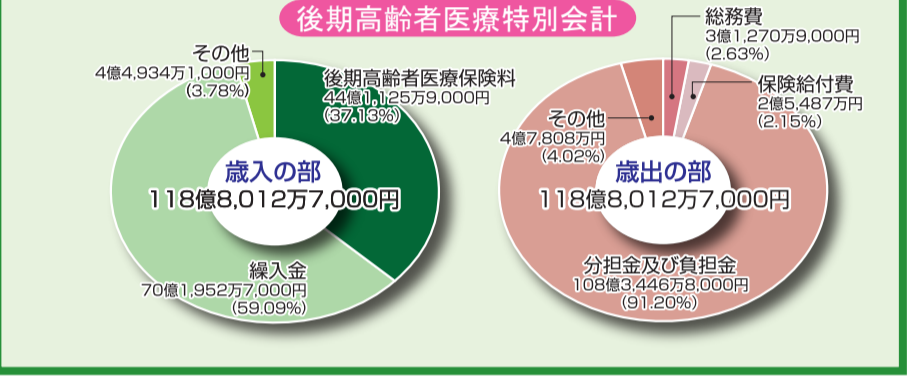
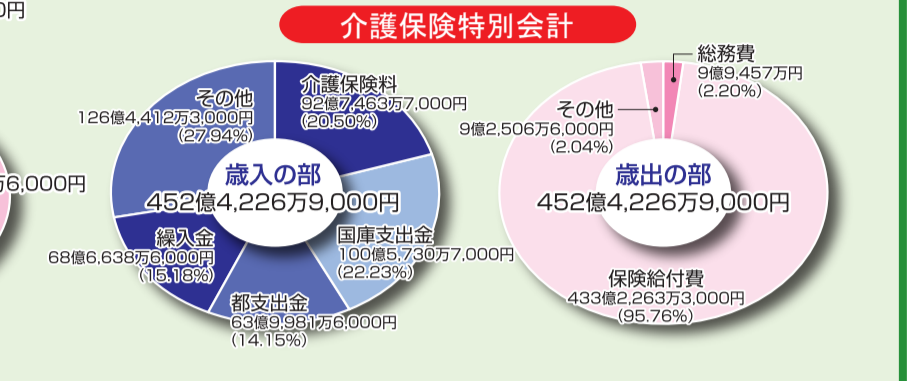
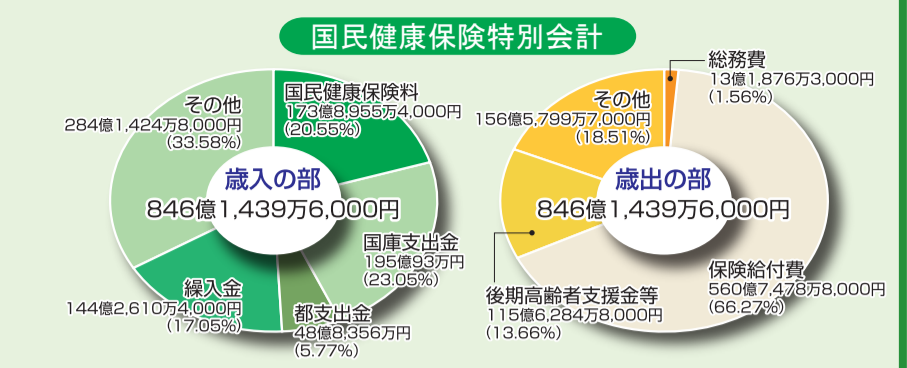
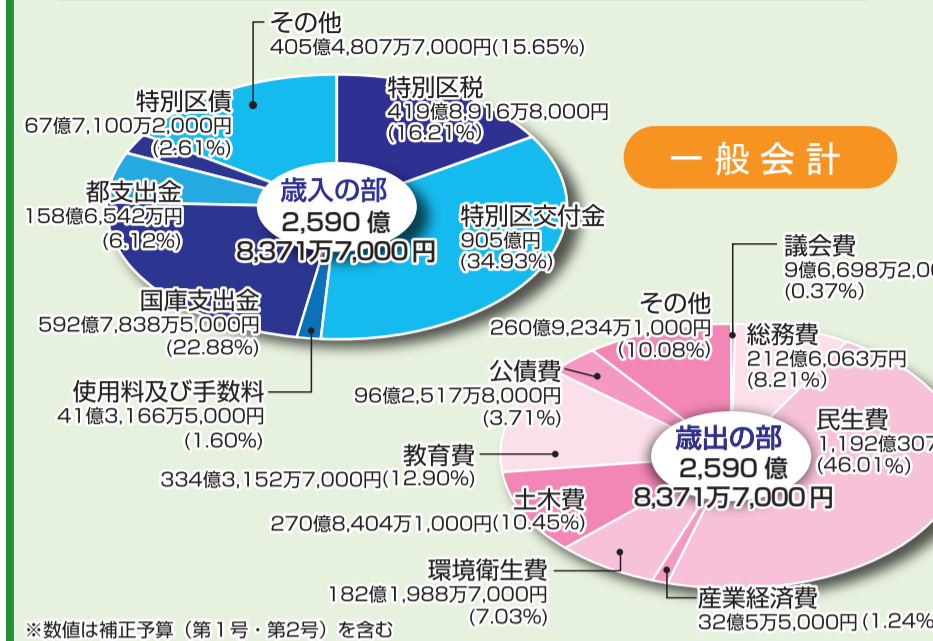
国民健康保険特別会計は、一人あたり平均3千188円の値上げ、保険料算定の旧ただし書き方式への移行に伴う経過措置を廃止し、区民負担を一層強めるものである。

後期高齢者医療特別会計は、年齢で高齢者を差別し、保険料の際限ない値上げ等、世界に例のない制度であり、廃止に値する。今こそ自治体の使命を発揮し、予算の使い方を区民本位に改めるよう強く要望する。

また、PM2.5等の環境対策強化、カラーユニバーサルデザインに配慮したまちづくりのさらなる推進、スカイツリー開業に伴う観光振興策、足立区の魅力をPRするための広報のあり方、待機児童ゼロを目指すた保育施設整備、鹿浜地域への買物難民支援の拡充、区民の健康増進等について質疑・要望したが、特に、新田橋架け替え等地域住民の生活実態を考慮しない事業の進め方、地元住民や議員に十分な説明のないまちづくりの進め方の改善を強く指摘する。

以上、議論内容を十分に考慮しながら、区民生活向上のため、足立区政の担い手として来年度予算を執行することを要望する。

平成25年度各会計予算



平成25年度各会計予算 予算特別委員会審査

平成25年度各会計予算案を審査するための予算特別委員会が開会され、3月4日から12日までに6日間審査を行いました。

委員会での質疑及び審査結果

平成25年度予算は、「確かな明日のために今、さらなる挑戦」と銘打ち、時代の変化に的確に対応し、将来も持続可能な自治体であり続けるとして、第二次重点プロジェクト推進戦略「子ども「くらし」まちづくり」経営改革の4つの柱の施策をさらに進めるため重点的に配分したものとなっています。

本委員会では、今後の財政運営、公共サービス改革、孤立ゼロプロジェクトを中心としたくらし施策、災害対策、学校教育

今定例会で可決した 決議・意見書(要旨)

意見書は関係機関に提出しました。

北朝鮮の核実験に抗議する決議

2月12日、北朝鮮は3回目の地下核実験を強行した。足立区議会は、北朝鮮の核実験に対し厳重に抗議し、六者会合へ早期・無条件に復帰し、全ての核兵器及び核計画の放棄を強く求めるものである。以上、決議する。

中小企業に対する経営支援体制の強化を求める意見書

政府に対し、左記事項の早期実現を強く求めるものである。

の各施策、待機児童対策、子育て支援、生活保護の適正な実施、健康づくり、高齢者・障がい者支援、環境施策、区内交通網の整備、道路の新設・改良事業等、各委員から区政全般について幅広く質疑が行われました。

また、鈴木けんいち委員ほか2名から、平成25年度「一般会計予算」「介護保険特別会計予算」の修正案が提出されました。質疑終了後、各会派から討論が行われ、5議案及び修正案について採決しました。

(討論の要旨は7面に記載)

本会議での議決結果

3月27日の本会議において、藤沼壮次委員長より報告がされた後、採決を行いました。

その結果、5議案を原案のとおり可決し、平成25年度各会計予算が成立しました。

1 全国的な中小企業支援ネットワークの構築や、認定支援機関の整備など、総合的かつきめの細かい経営支援体制の充実を図るとともに、中小企業への周知徹底、フォローアップに万全を期すこと。

2 地域の金融機関のコンサルティング能力及び支援体制を強化し、中小企業の主体的な取り組みと経営再建意欲の促進を図ること。

(内閣総理大臣、経済産業大臣、金融担当大臣あて)

ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める意見書

政府に対し、左記事項の早期実現を強く求めるものである。

予算特別委員会委員(23名)

◎委員長 / ○副委員長

藤沼 壮次	加藤 和	鈴木 けんいち	白木 正	せぬま 剛	白木 進	鈴木 けんいち	鈴木 けんいち	鈴木 けんいち	鈴木 けんいち	鈴木 けんいち	鈴木 けんいち	鈴木 けんいち	鈴木 けんいち	鈴木 けんいち	鈴木 けんいち	鈴木 けんいち	鈴木 けんいち	鈴木 けんいち	鈴木 けんいち	鈴木 けんいち	鈴木 けんいち	鈴木 けんいち
-------	------	---------	------	-------	------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

1 ブラッドパッチ療法の治療基準を速やかに定め、平成26年度に保険適用とすること。

2 厚生労働省の「脳脊髄液減少症の診断・治療の確立に関する研究」を平成25年度以降も継続させ、診療ガイドラインの早期作成とともに、子どもに特化した研究及び周辺病態の解明を行うこと。

3 脳脊髄液減少症の実態調査を実施し、患者・家族に対する相談及び支援体制を確立すること。

4 ブラッドパッチ療法に関する先進医療認定施設を各都道府県に最低1ヶ所設けること。

(内閣総理大臣、厚生労働大臣あて)

給付制奨学金の実現を求める意見書

日本の公的奨学金制度は、大多数が卒業後に返済しなければならぬ貸与制であり、有利子の奨学金が7割を占めている。世界を見るならばOECD(経済協力開発機構)加盟国の中で、大学授業料が有料で給付制奨学金がないのは日本だけである。

よって、足立区議会は国会及び政府に対し、高校生及び大学生に対する給付制奨学金制度の早期実現を強く求めるものである。

(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣あて)

決議日 決議：2月28日
各意見書：3月27日

会派等一覧

◎幹事長 / ○副幹事長

足立区議会自由民主党 TEL(3880) 5760	くしろい 光治 加藤 和明 馬場 信男 鴨下 稔 鹿浜 昭吉 吉岡 重則 鈴木 進 渡辺 ひであき 白石 正輝 高山 延之 藤沼 壮次 高田 延之 せぬま 剛 金田 正 新井 英生 ぼっち 易隆 しのはら 守宏	足立区議会公明党 TEL(3880) 5765	前野 和男 河上 隆 あかし 幸子 小泉 ひろし 岡安 たかし たがた 直昭 金沢 美矢子 いいくら 昭二 たきがみ 明 長井 まさのり きしま てるい くぼた 美幸 うすい 浩一 佐々木まさひこ	足立区議会民主党 TEL(3880) 5775	鈴木 あきら 長谷川 たかこ おぐら 修平	足立区議会みんなの党 TEL(3880) 6559	浅古 みつひさ ただ太郎	無会派 TEL(3880) 6583	市川 おさと	無会派 TEL(3880) 5780	へんみ 圭二
-------------------------------------	---	-----------------------------------	--	-----------------------------------	--------------------------	-------------------------------------	--------------	------------------------------	--------	------------------------------	--------